

呼吸器・化学療法内科

連絡先

TEL 0853-20-2580

FAX 0853-20-2580

診療科の専門分野

呼吸器内科、感染症、アレルギー、腫瘍内科、セカンドオピニオン

診療内容

A) 呼吸器・化学療法内科を受診するきっかけは以下のよう
なことがあげられます。

- 1) 検診の胸部レントゲンで異常陰影を指摘された
- 2) 咳や痰が長引く、痰に血が混ざる
- 3) 喘鳴（ぜーぜー）があり息苦しい
- 4) 息切れがする
- 5) 胸の痛みがある
- 6) 日中の眠気、いびきがひどい
- 7) タバコが止められない
- 8) 自分の病気について他の専門医の意見を聞きたい

B) 呼吸器の病気

呼吸器の病気は以下の7項目に分類されます。

- 1) 感染症
- 2) 気道疾患
- 3) 間質性肺炎
- 4) アレルギー性肺疾患
- 5) 肺癌
- 6) 睡眠時呼吸障害
- 7) ニコチン依存症（たばこ依存症）

これらを少し詳しく説明すると、

- 1) 感染症は、通常生活をしている方が罹る市中肺炎、病院に入院中に罹る院内肺炎と高齢者に多い誤嚥性肺炎があげられます。肺炎は、効果的な抗生物質が次々と開発されたものの、いまだに日本における死因の第4位に位置しており、予防、早期診断と適切な治療が必要な病気です。(写真1)
- 2) 気道疾患には肺気腫、慢性気管支炎、気管支拡張症などが含まれますが、いずれも適格な診断と治療が行われないと、増悪を繰り返し、病状が次第に悪化することがあるので、注意が必要です。
- 3) 間質性肺炎は、咳と息切れを主な症状とする病気です。肺活量が減少するため、体を動かした後の息切れが強く、感染を引き金として増悪することがあるので、適切な管理が必要となります。一部の膠原病では、肺に間質性肺炎を生じて症状が出る場合がありますので注意が必要です。
- 4) アレルギー性肺疾患としては気管支喘息が有名ですが、その他にも薬剤や、種々の要因によって肺全体に病変が生じ、咳や息切れの原因となることがあります。
- 5) 肺癌は、難しい病気ですが、新しい抗がん剤や分子標的薬と呼ばれる副作用が少ない薬が開発、承認されつつあります。自分の病状を把握し、病気とうまくつき合っていくことが重要です。症状としては、頑固な咳、痰に血が混ざる、胸の痛み、やせる、などがあります。
- 6) 睡眠時呼吸障害は、睡眠中に断続的に無呼吸を繰り返す、その結果、日中傾眠などの種々の症状を呈する疾患。70-80%は肥満で、いびきと他人による呼吸停止が観察されます。モニターを装着し外来（自宅）で検査後に精密検査のために短期間入院することで診断が可能です。
- 7) 喫煙習慣はニコチン依存症という病気であることがわかっています。禁煙を希望される方は、ニコチンパッチや飲み薬によって煙草をやめることが可能です。



診療科長(教授)

磯部 威

専門分野

呼吸器全般、腫瘍内科

資格

日本内科学会専門医(指導医)、日本呼吸器学会専門医(指導医)、日本呼吸器内視鏡学会専門医(指導医)、日本感染症学会暫定指導医、日本臨床腫瘍学会暫定指導医、がん治療認定医、日本老年医学会指導医、日本禁煙学会専門医、ICD



胸部レントゲン写真(正常肺)

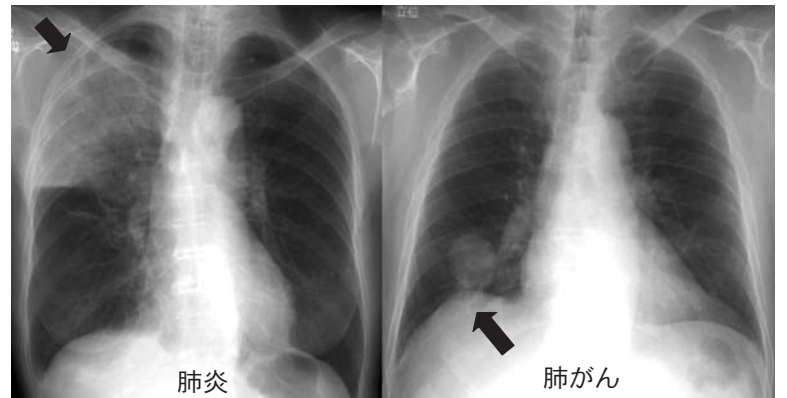
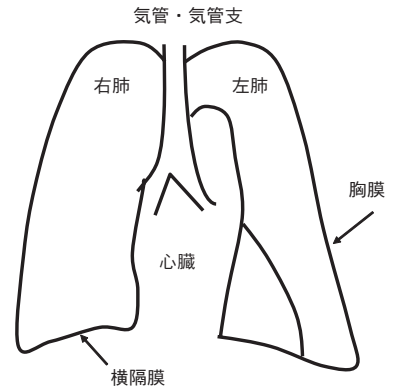


写真1

写真2

診察日と診察医

	午前	午後
月曜	峠岡	須谷
火曜	磯部・岩本 大江	神田
水曜	峠岡 須谷(化学療法) 堀益	休診
木曜	休診	多田 遠藤(2時から) 禁煙(予約制)
金曜	磯部・津端(化学療法) 神田	大江 濱口

・認定専門医、指導医、認定施設
日本内科学会、日本呼吸器学会、日本呼吸器内視鏡学会、
日本アレルギー学会、日本がん治療認定医機構、日本臨床腫瘍学会
日本老年医学会、日本感染症学会、日本医学放射線学会、
日本禁煙学会

・多施設共同研究
西日本がん研究機構(WJOG)

C) 呼吸器の主な検査

- 1) 画像診断：胸部単純X線写真やCTを用いた検査を行います。
- 2) 呼吸機能検査：肺活量を含む、肺のさまざまな機能を調べ、診断や治療に役立てます。
- 3) 気管支鏡検査：肺に異常がある際に、組織を採取し、肺の細胞を調べ、診断を確定するための重要な検査（入院）です。
- 4) 睡眠時無呼吸検査：簡易モニター（自宅）と精密モニター（入院検査）があります。

D) 呼吸器・化学療法内科診療内容

外来、病棟において、呼吸器疾患の全領域の診療を行っています。呼吸器内科の病棟回診は毎週行い、週2回、呼吸器内科全メンバーでの検討会を行い、臨床研究として発表されたデータにもとづき、患者さんにとって最良の医療を提供することを目標とした診療に取り組んでいます。専門外来としては、肺癌の外来化学療法、睡眠時無呼吸の在宅陽圧呼吸、慢性呼吸不全に対する在宅酸素療法外来、禁煙外来も保険適応で行っています。

医師のプロフィール

 <p>専門分野 呼吸器全般、腫瘍内科</p> <p>資格 日本内科学会専門医、日本呼吸器学会専門医、日本アレルギー学会専門医</p> <p>副診療科長(講師、外来医長) 峠岡 康幸</p>	 <p>専門分野 呼吸器全般、腫瘍内科</p> <p>資格 日本内科学会認定医、日本呼吸器内視鏡学会専門医、がん治療認定医、日本アレルギー学会専門医</p> <p>助教 須谷 顕尚</p>
 <p>専門分野 呼吸器全般、画像診断</p> <p>資格 日本医学放射線学会専門医、がん治療認定医、抗菌化学療法認定医</p> <p>助教(病棟医長) 神田 響</p>	 <p>専門分野 呼吸器全般</p> <p>資格 日本内科学会認定医</p> <p>医員 大江 美紀</p>
 <p>専門分野 呼吸器全般</p> <p>資格 日本内科学会認定医</p> <p>医員 堀益 靖</p>	 <p>専門分野 呼吸器全般</p> <p>医員 濱口 俊一</p>
 <p>専門分野 呼吸器全般</p> <p>医員 多田 光宏</p>	 <p>専門分野 腫瘍内科、呼吸器全般</p> <p>医員 津端由佳里</p>
 <p>専門分野 呼吸器全般</p> <p>医員 岩本 信一</p>	 <p>専門分野 呼吸器全般、睡眠時無呼吸症候群</p> <p>資格 日本内科学会認定医</p> <p>非常勤 遠藤 正博</p>